子どもの一生に寄り添う名前を

親の願いと責任を込めた名づけ





くろす助産院
院長 黒須恵さん

助産師として約2000人以上の赤ちゃんを取り上げ、妊産婦と産後のお母さんに携わる。独自のメソッドで妊娠中や産後、育児の指導、講演活動などを行う。2023年、新たにコーラルケアリスト養成講座を開始。「一般社団法人産後ケアラボ協会」の運営代表。

子どもの名前を考える時間は楽しい反面、「この読み方で本当に大丈夫」「画数も気にするべきか」など、迷う方も多いのではないだろうか。実際、私も妊婦さんから、「いつまでに決めればよいですか」と相談されることがある。子どもの名前は、出生の日から14日以内に提出する出生届に記入するため、それまでに決めておかなければならない。そのため妊娠中に、考える方も少なくない。

しかし、特に妊娠中期はつわりが治まり、体調が良くなることで、いわゆる「マタニティハイ」になりやすい時期だ。エコー写真を眺めたり、ベビー服を買いそろえたりする中で気持ちが高まり、普段とは少し違った感覚で名前を考えてしまうこともある。助産師として妊娠中期で決めきるのではなく、いくつか候補を用意しておくよう、アドバイスしている。

名前に使える文字は、常用漢字や人名用漢字、ひらがな、カタカナというルールがある。「美」を「よし」と読む名乗り読みが可能な一方で、「悪」「死」「臭」などの不吉な意味の漢字や複雑で書けない漢字は避けるべきだ。これまで読み方には明確な基準がなかったため、近年は「愛」と書いて「ラブ」、「金銀銅」で「メダル」と読むなど、漢字から読み方を想像することが難しい名前も多くみられるようになった。

2025年に施行された改正戸籍法では、戸籍に氏名の振り仮名が記載されることになった。戸籍に記載できるのは、「氏名として用いられる文字の読み方として一般に認められているもの」と定められ、出生届を受理する市役所や町村役場の戸籍窓口の担当者が判断を下せるようになった。いわゆるキラキラネームが法的に規制されたわけではない。とはいえ、実際にその名前を使いながら人生を歩んでいくのは子ども自身だ。読めない名前やおかしな名前は、学校や病院で笑われたり、いじめや差別の原因にもなる。さらに、幼稚園や小学校受験では、子どもの能力測定が難しいため、名前の由来を尋ねられることも。「好きな漫画のキャラクターだから」などの理由であれば、家庭の知性や教育方針を疑われ、合否に影響するリスクもある。

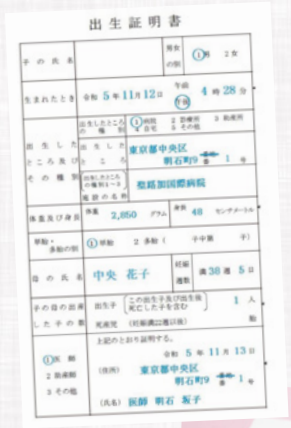
統計的にも高学歴の人や大企業に勤める人には、比較的平凡で読みやすい名前が多い傾向が見られており、子どもの就職に影響する可能性も否定できない。キラキラネームで苦しんだ子が、15歳になっ



名づけの書籍など。

名づけについての講座資料。

「どうしてこの名前にしたの？」と聞かれたときに、親が誇りを持って理由を伝えられる名前を。


出生証明書

「出生証明書」




出生届

てから家庭裁判所に改名申し立てをして名前を変更した実例も存在する。

名づけでは、姓名判断や画数を参考にする方も多いが、科学的な根拠があるわけではない。気にしすぎると、使いたかった漢字や気に入った響きを選べなくなることもあるため、安心材料の一つとして捉えるのがオススメだ。

歴史上の人物や有名人にちなんだ「あやかり名」も、子どもの励みになる一方、過度な期待を背負わせる可能性がある。その名前を受け取る子どもの立場から考えることが大切だ。名前には、その時代の価値観や親の願いが表れやすい。戦時中には「勇」や「武」、人とのつながりが求められる時代には「愛」を使った名前が多く見られた。現代の個性的な名前にも、「その子らしく輝いてほしい」「自分らしい人生を歩んでほしい」という親の願いが込められているのだろう。しかし、「名は体を表す」と言われるように、名前はその人自身を表し、生涯にわたって使われる大切なものだ。漢字は長い歴史の中で受け継がれてきた公共の財産でもあるため、「親がそう読ませたいから」という理由だけで、一般的な読み方から大きく離れた当て字を用いることは慎重に考えるべきだ。



名前は、親から子どもへ贈る最初のプレゼントともいわれる。読みやすさや呼びやすさ、込めた願いなどを家族で話し合い、「どうしてこの名前にしたの？」と聞かれたときに、親が誇りを持って理由を伝えられ、子ども自身も自信を持てる名前を選んでほしい。




産後ケア先のお子様の耀くん。


耀くんのお宮参り。



くろす助産院
Kurosu Method®
https://coralcarelist.jp/
Tel 090-5398-3177
E-mail megumi.kurosu@gmail.com
megumi@kurosu-josan.com
東京都渋谷区幡ヶ谷3-31-3
ライオンズヴィアーレ幡ヶ谷402